

第8回文部科学大臣杯マナーキッズショートテニス全国小学生団体戦

たいかいようこう 大会要項

- 開催期日：平成²⁴年¹²月¹⁵日（土）10時試合開始（9時受付開始）高学年
平成²⁴年¹²月¹⁶日（日）10時試合開始（9時受付開始）低学年
雨天の場合、コンソレーションは中止します。
- 後援：文部科学省 東京都教育委員会、品川区教育委員会、公益財団法人日本体育協会日本スポーツ少年団、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本テニス協会、公益財団法人日本ソフトテニス連盟、東京都テニス協会 NPO法人ショートテニス振興会
- 協力：小笠原流礼法 鈴木万亀子総師範 社団法人日本テニス事業協会 社団法人日本プロテニス協会 NPO法人日本シニアテニス連盟 日本女子テニス連盟
- 開催場所：平成²⁴年¹²月¹⁵日（土）高学年のみ
品川区立小中一貫校日野学園アリーナ・同学園グラウンド
東京都品川区東五反田2-11-1
電話03-3441-3209
電車 山手線五反田駅及び大崎駅より徒歩6分
平成²⁴年¹²月¹⁶日（日）低学年のみ
東京都立産業技術高等専門学校品川キャンパス体育館・同テニスコート
東京都品川区東大井1-10-40
電話03-3471-6331
電車 京浜急行鮫洲駅徒歩9分、青物横丁駅徒歩10分
りんかい線品川シーサイド駅B出口徒歩2分
都営バス 都立産業技術高専品川キャンパス前下車徒歩2分
品川駅東口 八潮パークタウン（品91系統）
品川駅西口 大井競馬場（品93系統）
大井町駅 八潮パークタウン（品92系統）
- 参加対象：小学校1年生～6年生、なお、同じ都道府県内の異なる小学校児童とチーム編成が可能です。
- 競技方法：小学校・総合型地域スポーツクラブ・NPOスポーツ団体・スポーツ少年団別、各学年別・男女別団体対抗戦（特定の学年だけに限定して参加することを認めます）及び低学年の部、高学年の部団体対抗戦
- チーム編成：各学年 単2、複1（単、複重複出場可）、1チーム 2名～6名。

- 8 参加チーム数： 高学年男子 24 チーム、 女子 24 チーム以内（原則）
低学年男子 16 チーム、 女子 16 チーム以内（原則）

9 試合方法：

- (1) コートサイズ 6.1m×13.4m

低学年は5m × 11m（テニスコートの約4分の1）に変更します。

- (2) ネット 高さは中央部で80cm、支柱（サイドポスト）で85cm

（低学年は低いネット使用）

日野学園グラウンド及び都立産業技術高専品川キャンパステニスコートでの試合は、メガスポーツネットを使用しますので、寸法が若干異なります。

- (3) 得点 高学年9点先取（8対8になった場合は次のポイントで勝負を決するサドンデス方式）

低学年7点先取（6対6になった場合は次のポイントで勝負を決するサドンデス方式）

なお、試合が15分以内で決着がつかない場合は、15分経過時点におけるポイント数が多いチームの勝利とします。

試合進行時間により、ポイント数を減らすことがあります。

- (4) コートチェンジ

シングルス、ダブルスともコートチェンジは行いません。その代わり、チーム同士の挨拶の後、ジャンケンをし、勝ったチームは、どちらのサイドで試合をするかを選べます。

- (5) サービス

- ・ サービスは相手コートの対角線半分内に落とします。
- ・ 適切な領域内に落とせなかったサービスの場合、2回目のサービスを行えますが、これも失敗すればサーバーが得点を失います。
- ・ サービスはベースライン後方から行って、右の場所から左の順になります。
- ・ サービスはオーバーハンドまたはアンダーハンドで行えますが、ボールを打つ前にバウンドすることは許されません。
- ・ サービスしたボールは一度バウンドさせてから打たなくてはなりません。もし、レシーバーがボールをバウンドしないうちに打つとレシーバーは得点を失います。
- ・ サービスはプレーヤー同士2点ごとに交代して行います。
- ・ サービスしたボールがネットにあたって相手のサービスエリアに

落ちたならば、もう一度サービスを行うことができます。

(6) プレー

- ・ サービスを受ける時以外、プレーの間、競技者はボールのバウンドする前後に打つことができます。

(7) ダブルス

- ・ 4人の競技者は順番に2点ごとのサービスを行う時を除いて、全てシングルスと同じ規則となります。すなわち、最初の2点をサービスするパートナーは5点、6点目にサービスすることになります。

(8) 審判

高学年はSCU(ソロチェアアンパイアー)方式です。(審判はつきませんがラインのセーフアウトの判定は、選手が判定します。ただし、審判が選手の判定を覆すことがあります。得点板はポイントを取った選手が待機しているチームメートが回します。)

低学年は審判が判定します。

10 使用球：

高学年・・・ダンロップ(小)

低学年・・・ヨネックス(小)

強風の場合、グラウンド及びテニスコートでの試合は、プレイ&ステイのレッドボール(スポンジボールより少し大きく、重い)を使用することがあります。

11 使用ラケット：

マイラケット使用可(但しショートテニス用23インチ以下に限定)

大会本部で用意するラケット使用可。

12 順位決定方法：

- ・ 各学年別・男女別、小学校・総合型地域スポーツクラブ・NPOスポーツ団体・スポーツ少年団別団体対抗戦

各学年別にトーナメント方式により試合を行い優勝、準優勝、3位チームを決定します。

併せて、各学年別・男女別団体対抗戦の成績を次によりポイント換算し、その合計点により、低学年の部(1~3年)、高学年の部(4年~6年)の総合優勝、総合準優勝、総合3位チームを決定します。

なお、同点のチームが複数あった場合は、直接対戦で勝ちが多いチーム、勝ち数が同じ或いは、直接対戦が無かった場合は、両チームのエース同士シングルスを行い、勝者のチームを優勝とします。その他、複雑なケースが起きた場合は、大会本部で検討の上、順位を決定することがあります。

文部科学大臣賞を交付する者及びその数は次の通りです。

賞状：高学年の部(4年~6年)総合優勝 男子1チーム及び女子1チーム

低学年の部(1年～3年)総合優勝 男子1チーム及び女子1チーム
 大臣杯: 高学年の部(4年～6年)総合優勝 男子1チーム及び女子1チーム
 低学年の部(1年～3年)総合優勝 男子1チーム及び女子1チーム

優勝	準優勝	ベスト4	ベスト8	ベスト16	初戦敗退
100	70	50	35	25	18

・ コンソレ - ション

雨天の場合、中止します。

13 マナーキッズ大使の選考:

大会参加者の中からマナーキッズ大使を選考し、次の通り海外に派遣します。

- (1) 派遣時期: 平成25年7月下旬～8月中旬
- (2) 派遣先: Y M C A ダイナミックサマーキャンプ (於: フロストバレー・ニューヨーク州・USA)
- (3) 派遣人員: 男女若干名(高学年の部から選出)
- (4) 選考基準: マナーキッズ大使の選考は、試合結果、マナー、感想文、面接等を基準に入れ、主催者が選考します。

なお、体育・道徳融合授業開催校182校(開催予定を含む)の生徒及び授業以外のマナーキッズテニス教室受講者(マナーキッズテニス教室修了証書持参者)は加算されますので、第1日目受付の際に別紙に記入の上、自己申告して下さい。

- (5) 事前研修: マナーキッズ大使としてふさわしい行動、言動がとれるよう、海外派遣前(平成25年3月30日(土)、31日(日)を予定)に、千葉県柏市吉田記念テニス研修センターにおいて事前研修を行ないます。保護者も必ず事前研修に参加して下さい。選手及び保護者が事前研修に参加できない場合は、マナーキッズ大使対象外となりますのでご留意下さい。
- (6) 内容: スポーツキャンプを通じ、アメリカの子ども達と交流します。
- (7) 日程: 19日間

たいがいちゅういじこう
大会注意事項

1 スケジュールについて

12月15日(土) 高学年対象

9時00分 受付開始

外からの出入りは品川区立総合体育館です。入場開始時間は8時45分です。

日野学園地下2階総合受付(会場地図参照)において受付して下さい。

9時30分 監督会議（白野学園アリーナ、当日アナウンス）

10時00分 試合開始
白野学園アリーナ

13時00分 コンソレ試合開始
白野学園グラウンド（雨天中止）

試合終了後高学年表彰式（文部科学大臣賞、学年別優勝、準優勝、3位、
マナー賞他・第3回マナーキッズ標語・作文・ポスターコンクール表彰）

マナーキッズ大使の面接は、第2目に行います。面接場所は当日発表します。また、マナーキッズ大使の発表は、大会終了後に行うことがあります。

12月16日（日）低学年対象

9時00分 受付開始
東京都立産業技術高等専門学校品川キャンパス体育館総合受付

9時30分 監督会議（体育館、当日アナウンス）

10時00分 試合開始
コンソレ 屋外テニスコート（雨天中止）

試合終了後低学年表彰式（文部科学大臣賞、学年別優勝、準優勝、3位、
マナー賞他）

2 マナーについて

マナーキッズテニスプロジェクトはテニスの技術習得に加えて、挨拶、礼儀作法の基本的マナーの習得、スポーツマンシップの体得を目的にしておりますので、本大会においても次の諸点にご留意下さい。

(1) 受付

9時00分より受付を開始します。受付は出場選手が一人一人自ら行って下さい。

「おはようございます」「ゼッケン番号、チーム、です」「よろしくお願
いいたします」の要領で行って下さい。ゼッケンを受領して、着用して下さい。

保護者の方は、IDカードを着用して下さい。

1日目、2日目とも会場を去る場合は、チーム毎に整列し、受付の方に「ありが
とうございました」の挨拶を行って下さい。

(2) 開会式

開会式は行いません。大会注意事項をよく読んで下さい。

(3) ゲーム

- イ チーム名のプラカード、オーダー表
 チーム名のプラカードを忘れず持参し、審判に渡して下さい。
 オーダー表も忘れず持参して下さい。
- ロ チーム同士の挨拶を行います。
 お互い、「よろしくお願いします」、次に審判に「よろしくお願いします」、
 とあいさつをします。次に、キャプテン同士がオ-ダ-表をまず審判に確認し
 てもらって下さい。その後、お互い交換(オ-ダ-交換)してから、自己紹介
 を「小学校名、学年、氏名、宜しくお願いします」の要領で行ってください。
 次に、対戦選手同士でネットをはさんで「よろしくお願いします」。次に審判に
 「よろしくお願いします」とあいさつをします。
 その後、ジャンケンを行い、勝ったチームがどちらのサイドで試合をするか
 選びます。試合中のコートチェンジは行いません。
- ハ 各試合毎にジャンケンをし、勝った方からサーブを行います。
- ニ 試合終了後、選手同士で「ありがとうございました」と言ってから、お辞儀を
 します。そして、勝っても負けても笑顔で、相手の目を見て、握手します。
 二人の審判にも同様の要領で行って下さい。
- ホ チームの対戦が終わりましたら、各チームの選手は全員でコートをはさんで
 挨拶をします。試合終了後直ちに挨拶が出来るよう選手全員はコート近く
 で待機しておいて下さい。
- ヘ 全試合終了後、選手全員はコートを挟んで一列に並びます。
 審判が「チームとチームの対戦は、シングルス対、ダブルス対
 、計対でチームの勝利となりました」と試合結果を発表しま
 す。尚キャプテンは、審判からスコアシートを見せてもらって、再度勝負を確認
 しサインをして下さい。
 その後、その場で「ありがとうございました」と言ってお辞儀をして終了し
 ます。
- ト 高学年はSCU(ソロチェアアンパイアー)方式です。(審判はつきませんがライン
 のセ-フがアウトの判定は、選手が判定します。但し、審判が選手の判定を覆す
 ことがあります。得点板はポイントを取った選手が待機しているチームメ-ト
 が回します。)
 低学年は審判が判定します。
- チ ボールを相手に渡す時は相手がウンバウンドかつウバウンドで受けやすいよう
 にラケットが手で返球して下さい。
- リ ボールが他のコート領域に行った場合は、他のコートにおいて選手がプレー中
 はポイントが決まるまでコートを横切らないで下さい。

又 応援はプレーに影響を与えない範囲で行ってください。試合中のベンチコーチや技術的助言は禁止します。

(4) 閉会式

イ 整列

- ・ チーム単位に低学年から縦に一列に整列して下さい。
- ・ 正しく立って下さい。
- ・ 髪の毛を上から引っ張られるイメージで背筋を伸ばす。
- ・ 目はキョロキョロ動かさない、視線は真っ直ぐに。
- ・ あごが出ないように注意。
- ・ 手の指はふくらみを持たせてそろえ、身体の横に自然に垂らす。
- ・ 両足は平行に。男の子はつま先を少し開き、女の子はそろえる。

ロ 表彰

表彰されるチーム、選手は、チーム名、氏名を呼ばれたら、大きな声で返事をして、表彰場所に向かって下さい。

表彰状を受け取る際は、まず、姿勢を正して表彰者にお辞儀をします。次に賞状の側面の中央部分を右手、左手の順に添えて受領します。次に、

「ありがとうございました」といってお辞儀をし、表彰者の目をみながら握手します。

3 感想文について

高学年の児童は、別紙「感想文について」により、1日受付の際に感想文を提出して下さい。

4 テニスクリニックについて

試合進行状況によって、テニスクリニックの実施可否を決定します。

5 服装について

服装は原則としてテニスウェア。スポーツに適しているものは可。

6 シューズについて

選手は、体育館用運動靴及び屋外用運動靴を用意して下さい。

引率者や応援の人は内履きと、屋外施設で応援される場合は運動靴を別途ご用意下さい。

7 昼食について

昼食時間は特にとりませんので、試合の空き時間に各自済ませて下さい。白野学園の場で飲食を行う場合は必ずシートを敷いて下さい。

8 禁煙

大会会場は禁煙です。

9 その他

駐車場はありません。他の交通機関をご利用下さい。
ゴミは必ず各自持ち帰して下さい。

参加賞「宮城黎子マナーキッズテニス・リマインドボール」について

マナーキッズテニス・リマインドボールは、第8回文部科学大臣杯マナーキッズショートテニス全国小学生団体戦及びマナーキッズテニス教室に参加した子ども達に、学んだマナーの習慣化のために作成しました。ボールには、マナーキッズテニスプロジェクトのシンボルマークと宮城黎子様サインと「継続」という文字が印刷されております。

1956～1963年全日本テニス選手権シングルス8連覇という偉業を成し遂げられました宮城黎子様は平成20年6月、86歳でお亡くなりになりました。生前、マナーキッズテニスプロジェクトの趣旨にご賛同頂き、指導面、資金面、広報面で大変ご支援頂きました。遺言により、マナーキッズテニスプロジェクトに多額のご寄付を頂戴いたしました。

宮城黎子様より頂戴しました寄附金を活用し、「マナーキッズテニス・リマインドボール」を作成しました。

宮城黎様は「継続」の大切さをしばしば述べておられました。何事も、一度やると決めたことは、あきらめずに最後までやり通すことが大切です。

マナーキッズテニス・リマインドボールを時々手にして、マナーキッズテニス教室で学んだ挨拶・礼儀作法の基本的マナーが身につくよう、家庭、学校、地域社会で実践して下さい。

また、「継続」という言葉の意味もかみしめて下さい。